

「黙れ！ 静まれ」

マルコによる福音書 4:35-41

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>

中学時代、寮の自習室が私語でうるさくなると静める役割を請け負っていました。

“うるさ～い！”(中一、二年生 200 人が自習していた部屋)

娘も、高校一年の山荘体験で夜、大部屋で雑魚寝しているとき周りが遅くまでお喋りして寝れなくて、“うるさいんだけど、いい加減にしてくんね！”と怒鳴ったそうです。

血は争えません。

ところでイエス様も怒鳴ったみたいですよ！

それも、湖に向かって

「イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。」

マルコによる福音書 4:39

イエス様が風と湖を叱って嵐を静めた奇跡にどのような意味があったのか、今朝はそんなことを一緒に考えてみたいと思います。

朗読

「その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。」

マルコによる福音書 4:35-41 新共同訳

解説

マルコの福音書は、ローマの皇帝ネロに迫害されたクリスチャンに宛てて書かれた書簡だと言われますが、湖で嵐に立ち往生し、死の恐れに取り憑かれた弟子達を救ったイエス様の奇跡はローマ帝国の迫害下にあったクリスチャン達をも励ますために言い伝えられていたのです。

(4:39) 湖を「叱る」という言葉はマルコの福音書では、悪霊を叱る言葉として用いられています(1:25)

悪霊をしかったのと同じ言葉ということを心に留めてこれからお話しすることを聞いていただきたいのですが、当時の人々は、海の中に(悪霊)がおり、その悪霊が騒いで嵐になると考えていたようです。

したがってイエス様が文字通り「悪霊を叱り、海を静ませた」という出来事は、クリスチャンを迫害し、恐怖させるこの世の力をイエス様には黙らせる権威ある方だと証しているのです。

本論

イエス様の権威とはどのような権威か、
それは…

この世界の創造主であり、全ての根源である神の独り子としての権威です。

イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。」
マタイによる福音書 28:18

「体は殺しても、魂を殺すことのできない者どもを恐れるな。むしろ、魂も体も地獄で滅ぼすことのできる方を恐れなさい。二羽の雀が一アサリオンで売られているではないか。だが、その一羽さえ、あなたがたの父のお許しがなければ、地に落ちることはない。あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。だから、恐れるな。あなたがたは、たくさん雀よりもはるかにまさっている。」

マタイによる福音書 10:28-31

イエス様はご自身の権威に弟子たちの目を開くため、すなわち「あなたがたの命は私の手のうちにある」ということを教えるために
風を叱って湖を静めたのです。

ところでイエス様はことばで嵐を静めたとありますが、このイエス様の行為は私たちに何を教えているのでしょうか。

それは第一に、イエス様の言葉は、天地を創造し、全ての生き物に命を与えた神の言葉そのものだということです。

次に、イエス様の言葉を信じるものは、イエス様によって命を得るということです。

まとめ

昔も、今もイエス様は生きておられ私たちのためにあり得ないことをなさいます。この真実を聖書のみならず、多くの信仰の先達が証ししていますが、なぜイエス様はそんな奇跡をなさりつづけるのか。

それは、私たちがイエス様とイエス様のことばを信じるものとなるためです。

「わたしが父の内におり、父がわたしの内におられることを、信じないのか。わたしがあなたがたに言う言葉は、自分から話しているのではない。わたしの内におられる父が、その業を行っておられるのである。わたしが父の内におり、父がわたしの内におられると、わたしが言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。」

ヨハネによる福音書 14:10-11 新共同訳

最後に、イエス様を信じるのは幸ってなんでしょうか。

それは、嵐が静められたように、イエス様は私たちの心そして現実に巻き起こる嵐を静め、私たちに平和、平安をもたらしてくださる方だということです。

みなさん、普段の生活で私たちは怒りや心配で心かき乱され、不安にさせられ、無力感に陥ることがあると思います。そんな私たちの人生の嵐をイエス様は静め、私たちに平安をもたらすことができるお方です！

イエス様の黙れ、静まれ！という一見、乱暴な言葉に思わず引いてしまう方がおられるかも知れませんが、実はそれは人間の知恵や力ではどうしようもないこの世の争い、憎しみに混乱した私たちに平和、平安をもたらすための神の憐れみに満ちた言葉なのです！

この朝、改めてお互いのうちにイエス様もたらしてくださる平安に私たちの信仰の目を開かせていただきませんか。

祈り